

国際センターの国際交流活動への取り組み

— 2019年度 国際交流推進室の活動報告 —

Approach to International Exchange Activities of the International Center

— 2019 Center for International Exchange Activity Report —

経営学部現代経営学科

田村 綾子

TAMURA, Ayako

Department of Contemporary Business

Faculty of Business Administration

要旨：本学は地域と連携し、国際交流活動を行っている。地域に根差した活動が多いためか、留学生を地域のイベントを支える仲間の一人として受け入れてくださる団体も多く、イベントが留学生の活躍の場にもなっている。このような交流活動は、本学の外国人留学生にとっても、地域の方々にとっても、互いを知り、自文化を見直す良い機会になっている。本稿は、2019年度の国際交流推進室の国際交流活動への取り組みをまとめたものである。

キーワード：留学生、国際交流、文化体験、地域社会、異文化理解

1. はじめに

本学の国際交流活動は、「国際センター」の中にある「国際交流推進室」が担当している。国際交流推進室が行っている業務は以下の通りである。

- ①外国人留学生対象の文化体験イベントの充実
- ②日本人学生と留学生の交流の活発化による学内の国際交流の推進

①については、本学が地域社会との良好な関係を築き、多くの地域がイベントに留学生を受け入れてくれていることから、非常に充実している。②については、留学生が在籍している、現代経営学科のイベント、または学友会の主催のイベントを通じての国際交流活動にとどまっている。

2. 2019年度在籍の留学生について

2.1. 留学生の内訳

本学は、2013年度より本格的に留学生の受け入れを開始した。受け入れを始めてから、年々留学生の数は、増加し、2019年度は5月の時点で、表1にまとめられたように297人となっている。

別科生については、2015年秋より受け入れを開始

し、ほとんどの学生が半年間の予備教育の後、本学の現代経営学科に入学している。従って、表1にある、別科生は、ほとんどが9月に現代経営学科に入学することになる。そして、後期に新たな別科生を受け入れる。また、別科を経由することなく、現代経営学科に直接入る留学生もいるので、後期には、表1の数に50名ほどプラスされる。

表1の通り、本学の留学生は圧倒的にベトナム国籍の学生が多い。しかし、他の国籍、特に中国籍の学生も着実に増えている。

表1 2019年5月現在の留学生数

	学部	別科	合計
ベトナム	265	10	275
タイ	5	3	8
中国	8	1	9
韓国	1	0	1
モンゴル	1	0	1
ケニア	1	0	1
アメリカ	1	0	1
ネパール	1	0	1
合計	283	14	297

2.2. 留学生の国際交流活動

現在、留学生は経営学部現代経営学科で受け入れているが、以前は次世代教育学部国際教育学科で受け入れていた。国際教育学科の留学生は、教育や国際交流に関心が高い学生が多かった。また、日本人学生も全員留学経験者だったためか、積極的に留学生と交流を行うものが多かった。しかし、現代経営学科になり、留学生も日本人学生も意識が変わってきたようだ。地域との国際交流活動に参加する者が限られた特定のグループになり、積極的に国際交流活動をする学生が減ったように思う。また、1,2年生の時は交流活動に参加していても、学年が上がるにつれ、参加しなくなるものが増える。国際交流より、学科のイベントやインターンシップに参加するものが増えるのだろう。

本学では留学生用の科目として「国際交流実習Ⅰ」、「インターンシップⅠ」が設定されている。これは、国際交流活動に参加することで出席を認定し、決められた数のレポート提出で単位認定される授業である。2019年度は、国際交流実習Ⅰでは39名、インターンシップⅠでは26名の単位が認定された。この数は、インターンシップⅠでは若干増えているものの、国際交流実習Ⅰでは、昨年度より10名以上減っている。国際交流活動自体の参加者も若干減っており、国際交流に対する学生の意識も変わってきているようだ。

3. 国際交流推進室の活動方針

2019年度、国際交流推進室の事業方針は以下の通りである。

- ①岡山市、赤磐市、倉敷市、早島町を中心とした、近郊地域との連携による国際交流事業を見直し、効果的なものへの絞り込みを行う。
- ②学内の留学生日本文化体験、国際交流活動を推進し、学生スタッフの育成を開始する。
- ③国際交流活動の記録の整理・とりまとめを行う。

外国人留学生の文化体験や国際交流を推進するだけでなく、学内の国際化、地域貢献としての国際交流活動を進めていく。また、これまで、地域から依頼のある活動にはすべて参加してきたのだが、今年度からは、全体に見直しをし、整理をしていくことにした。

4. 2019年度の国際交流推進室の活動

4.1. 地域との連携

今年度は、岡山県内の早島町、赤磐市、矢掛町、倉

敷市（倉敷「国際ふれあい広場」実行委員会）、岡山市内の瀬戸町、朝日町、と連携を取り、国際交流イベントを行った。

4.1.1. 早島町との連携

早島町生涯教育課、早島町教育委員会との連携した国際交流活動を始めて3年目となる。早島町は教育長をはじめ、国際交流活動に熱心な方が多く、多くの活動に参加させていただいている。

1) 早島町の国際交流活動への取り組み

早島町では、「早島学校教育ビジョン」を掲げ、学校教育、生涯教育において様々な取り組みをしている。早島町が本学の留学生と交流会を行う目的は以下のようにまとめられる。

- ①環太平洋大学の留学生との交流を通して、様々な国の様子を知り、世界への視野を広げられるようにし、早島の魅力を英語で発信することで早島を誇りに思う心を育てる。
- ②英語やその他、留学生の母国語での言葉の交流を通して、間違いを恐れぬ態度や積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を培う。

2) 実際に行った活動

(1) ロゲイニング

昨年同様、4回のロゲイニングが行われた。ロゲイニングは、オリエンテーリングに似ている活動である。小学生、留学生、地域の方で作ったチームが、地図上に示されたチェックポイントを回り、その回ったチェックポイントの多さで得点が得られるゲームである。

今年度は、これまでのロゲイニングの資料が冊子にまとめられた。また、チェックポイントにまつわるクイズが追加され、単に町の中を回るのではなく、回る間にチームのメンバーの間で話し合いをしなければポイントが獲得できないような工夫が追加された。

また、いつも参加してくださる地域の方が、留学生と小学生の交流を取り持ってください、地域の方も交流活動に慣れてきているのを感じた。

①ロゲイニングの進め方

ロゲイニングの活動は以下の順番で進められる。

- ・チーム分け
- ・作戦タイム：地図を見ながらどのように地域を回るか、役割分担はどうするか話し合う。
- ・ロゲイニングスタート：チームで地域を回り、チェックポイントの写真を撮る。チェック

ポイントの問題を解く。

- ・出発地点に戻る：担当者に写真を見せて、点数をつけてもらう。話し合っ問題とを解く。
- ・結果発表・全体のセッション：チームの順位が発表される。チームごとに話し合っ結果や意見などを参加者全体で共有する。

②ロゲイニング実施日

以下の4日間実施した。いずれも土曜日である。

実施日：5/18 6/8 11/9 12/7

時間：9：30～12：00

③ロゲイニングの効果

早鳥町のロゲイニングは、早鳥町という地域を知り、また一緒に回るチームメイトとの交流を通じて、コミュニケーション力を伸ばし、異文化を理解することを目的としている。今年度は、各チームに入った地域の方たちが中心となり、交流を促していた。

小学生にも、留学生にも人見知りをしてしまう者がいる。今年度は、地域を回るだけでなく、川柳を作ったり、クイズに答えたりといった活動も取り入れられ、相互の交流が進んだ。



図1 ロゲイニングのセッションの様子

(2)「アジアの国のお話会」

留学生に留学生の国の昔話を母語で読み聞かせするイベントで、会場は早鳥町立図書館のある「ゆるびの舎」の研修室である。留学生と小学生がペアになり、留学生は母語で、小学生は日本語で交互に語る。

お話会では、留学生の母国の「お話」を通して、参加者に異文化を理解してもらおうとともに、留学生の母国の紹介や、グループごとの交流会から、互いに理解し、国際交流に楽しさを知ってもらえたと思う。今年度は、平日に行ったため、地域の方の参加が少なく、幼稚園児、保育園児が中心となってしまい、交流会が遊びの場になってしまったが、留学生たちは元気な子供

たちとの遊びを楽しんでいた。

①「お話会」の進め方

お話会は、毎回1時間半程度で、以下のように進めた。お話によっては、お話の前に母国紹介をしたこともある。

- ・打ち合わせ：留学生とペアになる小学生がお互いを知るために交流し、また、お話をどのように語るか打ち合わせを行う。
- ・お話会スタート：留学生と小学生がペアになってお話を語る。
- ・学生の母国紹介：お話がどんなところで生まれたか、学生の母国を紹介する。
- ・グループに分かれて交流会
- ・全体のまとめ

②実施日とタイトル

8月8日：「100の節がある竹」 (ベトナム)

「慈悲深い王様」 (タイ)

8月22日：「スイカが生まれた日」 (ベトナム)

「スターフルーツの伝説」 (ベトナム)

8月28日：「ソン・ティン、トゥイ・ティン」

(ベトナム)

「大みそかのお話」 (中国)

③「お話会」の効果

まず、留学生が母語で自国の昔話をするというのは、留学生にとって楽しく、誇りを感じられるものようだ。また、ペアとなった留学生と小学生の間ではしっかりと交流が行われ、留学生にとっても小学生にとっても、互いを知るいい機会になっている。

お話会をしていつも感じるのは、小さい子供たちの外国語を聞いた時の反応の良さだ。子供は、意味が分からなくても、音を楽しんでくれるようだ。また、今回、中国語のお話は、王先生にお願いしたのだが、話りの上手さに子供たちが引き込まれ、言葉の意味はわからないはずなのに、集中して聞いてくれていた。



図2 お話会の様子

今回は、大人の参加や家族での参加が少なく、準備していた交流会の内容では交流会はできなかったが、子どもたちの反応に、新しい交流のスタイルを感じた。

(3) 早島English bus

今年度の新しく行った活動で、早島町教育長徳山先生のご提案で行われた。早島の小学生35名をIPUの第一キャンパスに招き、キャンパスツアー、学食体験、英語の授業を行った。英語担当の先生方のご協力の下、英語が得意な留学生、日本人学生が、英語を使って交流を行った。

①早島English Busのスケジュール

・実施日 8月7日

・1日のスケジュール

- 9:00~10:00 留学生打ち合わせ
- 10:00 小学生到着
- 10:30~11:30 英語活動①
- 11:30~12:20 第一食堂で食事
- 12:30~13:00 キャンパスツアー
- 13:15~15:00 英語活動②



図3 早島English Bus

②早島English Busの効果

事前打ち合わせと違うところがあり、少々混乱があったが、留学生を中心とした学生スタッフは、よく動いていた。

英語の得意な留学生にとって、能力を発揮する場になっていた。今後は、どの部署で行うかわからないが、すべての参加者が満足いくようにするためには、十分な打ち合わせが必要であると感じた。

(4) 早島IGUSA花ごぞピンポン世界大会

昨年、初めて開催された「早島IGUSA花ごぞピン

ポン世界大会」は、今年度日本各地から参加申し込みがあり、規模も大きくなった。

今年度は、「早島カフェ」に中国人留学生が、ピンポンには、ベトナムの留学生の他、中国、タイ、アメリカの学生と、韓国籍の教員が参加した。また、タイ、中国の留学生が実行委員として参加し、当日はもちろん、事前の実行委員会にもすべて参加し、与えられた仕事をこなすとともに、積極的に大会運営に携わっていた。

①スケジュール

a. 実行委員会開催日時

2018年秋入学の、リシンゴウさんと、サンデックチャイヤブルークさん2名が実行委員として、全3回の委員会に参加した。

7月13日(土) 9:30~12:00

9月14日(土) 9:30~12:00

11月16日(土) 9:30~12:00

実行委員会は早島中学校の生徒を中心に組織され、いくつかの分科会に分かれている。今年度、留学生は大会運営の分科会に入っていた。

b. 大会当日

日時:11月23日(土) 8:30~15:00

会場:早島中学校体育館

今年度は選手として、24人、サポートとして田村ゼミの学生5名、実行委員2名が参加した。また、早島カフェに中国人学生が4名参加した。

試合では、本学の学生が選手宣誓をさせていただき、また、早島町長さんのペアの相手も務めた。



図4 花ごぞピンポン 選手宣誓

②花ごぞピンポン大会の効果

実行委員として参加した2名には非常にいい経験になったようだ。地域のイベントを運営していく上で、何をしなければならないか、また、他の委員と

どのように協力しなければならないか体験できた。

早島カフェに参加した学生、ピンポンに参加した学生、両者とも十分楽しめたようだ。ピンポンに参加した学生は、対戦相手や審判に色々教えてもらったり、休憩中に話をしたりと、交流ができたようだ。

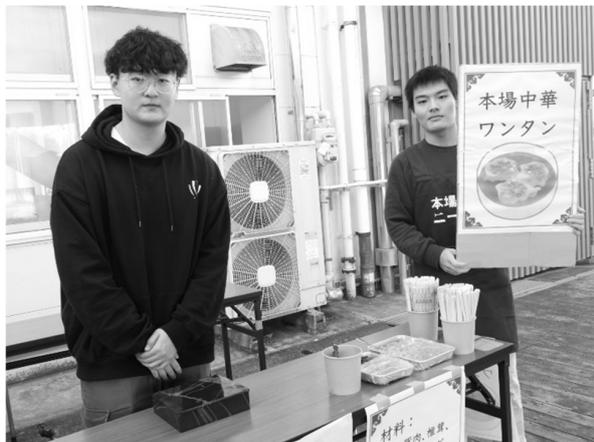


図5 花ごぎピンポン 早島カフェ

(5) その他の活動

早島町では、上記の他に様々な活動を行った。

a. 早島中学校でのHayashima English Day

・実施日：9月7日（土）9：00～12：00

早島中学校の授業参観日に行われた行事である。今年度は、不幸な事故があったため、参加者が少なく、9名しか参加できなかった。

b. 土曜英会話塾

早島中央公民館で行われている、小学生向けの英語のクラスである。ロゲイニングの後の参加となるので、参加回数は4回であった。小学生の会話の相手や、英語による母国の紹介を行った。

c. クリスマス会

・実施日：12月14日（土）14：00～15：00

早島町立図書館で、毎年行っている行事である。昨年は、「お話会」として開催したが、今年度はクリスマス会として、早島の朗読会の皆さんの朗読を聞いたり、ベトナムのクリスマスソングを紹介するなど、子どもたちと一緒にクリスマスを楽しんだ。

図書館なので大きな音は出せないということだったが、図書館に来ている人たちも学生の歌を楽しんでくれたそうだ。

d. 「まなび舎講座（大人のはやし塾）」

・実施日：12月26日（木）

学び舎講座は生涯教育の一環で行われている、地域の社会人向け教養講座である。この講座で地域の方と一緒にベトナム料理「バインセオ」を作った。昨年度

は、「バインミー」を作っている。

会場は中央公民館の調理室である。当日は、小学生、中学生の参加もあり、好評だった。

また、今回は手書きのレシピを配り、ベトナム食材の買えるお店の紹介も行った。参加者からは、早速家で試してみたいとの声が上がった。

3) 早島町での活動について

早島町との交流活動は、地域に密着したものであり、同じ地域で同じ相手と複数回交流ができることも多い。毎回来てくださる人もおり、より深い交流ができています。

しかし、対応が難しい依頼もあるので、もう一度担当と今後は、担当者と連絡を取り合いながら、どのような目的で、どのような活動を行っていくか精査していく必要があるように思う。



図6 まなび舎講座

4. 1. 2. 赤磐市との連携

赤磐市は、本学の所在地である岡山市東区瀬戸町に隣接した市で、産業振興部、総合政策部の方から提案をいただき、活動をしている。

1) 実際に行った活動

(1) 是里村ブドウの収穫・農業体験

赤磐市是里村でブドウの収穫体験、選果体験を行い、また、昼食を挟んで、ブドウの食べ比べを行った。

是里村は、是里ワイナリーで県外や外国からの体験ツアーを受け入れており、この事業は是里村のブドウとワインを世に知らせる広報活動の一環である。

①ブドウの収穫・農業体験のスケジュール

・実施日9月2日（月）8：00～14：00

・当日のスケジュール

- 8:00 東岡山駅集合
→赤磐市役所（トイレ休憩）
- 9:30 是里村 ぶどう園
- 11:00 選果場
- 12:00 これさとリゾートハウス 食事
ブドウの食べ比べ・アンケート
- 14:00 東岡山駅着

②活動の効果

ブドウの収穫、選果作業は学生にとって珍しく、非常にいい体験となった。今回は、少しであるが食事の際に地域の方と話すことができた。またお土産のブドウをたくさんいただいたので、学生はかなり満足することができたようだ。

(2) 是里村運動会

- ・実施日：10月10日 8:00～16:00

今年度で参加は3回目になる。老人や小中学生が中心の運動会なので、留学生にも無理なく参加できる。

毎回昼食を用意していただき、また競技の参加者に対して賞品を用意してくださるためか、学生から非常に好評である。

競技中、食事中、子どもたちや地域の方と話をしたり、遊んだり、多くの交流ができた。

2) 赤磐市との連携について

赤磐市は山間部で人口が減少している地域の活性化を目的とする交流活動に積極的である。また、インバウンドの受け入れに取り組もうとしており、本学の留学生と何かできないか、模索中である。

4.1.3. 倉敷国際ふれあい広場実行委員会との連携

倉敷国際ふれあい広場は、今年で29回目を迎える歴史のある国際交流イベントである。主催は「倉敷国際ふれあい広場実行委員会」であり、倉敷市国際交流課に事務局を置いている。

イベントの目的は、日本人市民と外国人市民の相互交流の機会を提供と地域の国際化の推進である。当日は、世界の料理屋台やフリーマーケット、世界各国の歌や踊りのパフォーマンス、スタンプラリーや世界一周ゲーム、中国民間文化伝統展示、ニュージーランドまるわかり、英語俳句、外国人なんでも相談コーナー、など、多彩なプログラムがあり、8千人程度が参加した。

本学の留学生は、ボランティアスタッフとして、また、パフォーマンス部門でのパフォーマー、展示部門

の担当者として参加した。

①実施日、活動内容等

- ・会場：倉敷芸文館
- ・実施日と内容
10月19日（土）準備とリハーサル
10月20日（日）「倉敷国際ふれあい広場」当日
9:00～準備
10:00 イベント開始
 - ・Iシアター：パフォーマンス
カフェ
 - ・友好の広場：世界の料理販売
パフォーマンス
フリーマーケット
 - ・芸文館ロビー：展示・ワークショップ
- 16:00 終了 片付け

②本学の学生の活動

本学の学生が行ったのは以下の活動である。

- ・準備：前日の会場設営、お茶会の準備
- ・当日：パフォーマンス（ベトナムのダンス）
ベトナムカフェ（Iシアター）
民族衣装着付け体験（展示）
中国・タイ・ベトナムの文化紹介（展示）
ワークショップ1（アジアの遊び）
ワークショップ2（世界がもし100人の村だったら）



図7 ヒッポ・ファミリークラブの方と

③活動参加の効果

イベントにボランティアとして参加した学生は、指示を待つだけでなく、準備、後片付けを積極的に動くことができ、実行委員会の方に感謝された。このようなイベントにボランティアスタッフとして参加することは、今後学生が日本で働く時に活かせると思う。

パフォーマンス、展示、ワークショップにおいても

学生はよく動いてくれた。先輩が中心となり、協力して活動している様子を見て、学生の成長を感じることができた。

本イベントでは、多くの国際交流グループの人たちやボランティアに接することができる。学生は休憩時間に他のブースや屋台を回り、他のブースの活動にも客として積極的に参加していた。

活動に参加することで、学生は教室では学べない様々なことを学んでいるようだった。

4.1.4. ベトナムフェスティバルin矢掛町

今年で、参加3回目になる活動である。外部の交流イベントの中で、参加する学生が最も多い。

このイベントは、矢掛町に住むベトナム人実習生に、工場から外に出てくる場を提供し、日本、矢掛町の文化・生活を理解してもらうために始められた。また、矢掛町民にもベトナム文化を知ってもらうという目的も合わせて持つイベントである。

主催は、「ベトナムフェスティバル実行委員会」であり、その中心となる方が、町や実習生の所属している工場や会社に働き掛け、実現した。

イベントでは、IPUのベトナム人留学生が中心となり、①ベトナム料理の屋台、②ベトナム語のカラオケ大会とダンス等のイベントを盛り上げた。

会場には、本学の留学生の他、矢掛町の人々による屋台が並び、ベトナム人研修生及び留学生は無料ですべての料理を食べることができる。ちなみに、町民は500円の入場料を支払えば、すべての料理を食べることができる。



図8 ベトナムフェスティバルの屋台

①実施日と内容

- ・会場：やかげ町交流会館 谷山サロン
- ・実施日と内容
11月17日（日）

屋台：11：00～（食材が終了するまで）

パフォーマンス：11：00～18：00

第一部：文化発表、ダンス、歌、ピンゴ大会

第二部：カラオケ大会

屋台での販売が終わったグループから、矢掛町の見学ツアーに参加した。

屋台で使用する食材、機材は全て「ベトナムフェスティバル実行委員会」が提供している。

②活動の効果

留学生は屋台で、料理を作り続けるため、楽しさはあるが、あまり地域の方と交流できなかったようである。しかし、会場を訪れた方にベトナム文化に触れてもらえた。

パフォーマンスの司会、パフォーマーは本学の学生が担当し、多くの人の前で何かを発表するという、貴重な体験ができた。

4.1.5. その他の地域連携による活動

1) 瀬戸カーニバルへの参加

・実施日：7月20日（土）11：00～18：00

毎年、瀬戸駅近くの長嶋病院の駐車場で夏祭りが行われている。主催者は「社会福祉法人天撰会」である。今年は音楽サークルによる歌、ベトナムのかき氷「チャー」を販売した。

今回の屋台は、国際交流サークルの出店で、日本人学生、留学生の混合グループであった。

2) 朝日町夏祭りへの参加

朝日町の夏祭りの手伝いをしている。屋台の手伝いをするだけなのだが、毎年多くの学生が参加し、地元の方々との交流を楽しんでいる。

4.2. 被災地支援ボランティア

昨年度、大雨による洪水が起き、倉敷市の真備町は大きな被害を受けた。この真備町にある蘭小学校への被災地支援に、本学の理科教師塾、表現教育と共に、国際センターも協力することになった。

1) 交流会

(1) IPUのプレゼンテーションコンテストに招待

蘭小学校からの要望で、6年生にプレゼンコンテストの様子を見てもらった。世話係として、留学生が3名ついた。

・実施日：7月2日 9：00～14：00

・内容：経営学部のプレゼンテーションコンテスト

見学

- ・IPUスタジオ体験
- ・学食体験
- ・キャンパスツアー

蘭小学校がこのイベントに参加したのは、プレゼンテーションはどのようなものか知るためであり、このイベントに参加した小学生が、本学のスピーチコンテストで、ゲストとして、プレゼンテーションを行った。



図9 プレゼンテーションラボの小学生

(2) 全校生徒との交流会

- ・実施日：7月9日 9：00～14：00
- ・会場：蘭小学校体育館・各教室

蘭小学校にお邪魔し、全校生徒と交流会を行った。全校生徒を4つのグループに分け、低学年の生徒のグループから順次、体育館に入ってもらい、1時間ずつ、文化紹介を行った。

生徒が留学生に歌を披露してくれたり、一緒に遊んだりした。また、給食を各教室で一緒に食べた。

(3) IPUでの交流会

- ・実施日：8月20日（火）9：00～15：00
- ・会場：IPU第一キャンパス ラーニングラボ

蘭小学校から60名ほどの生徒が参加し、3つのグループに分かれ、理科教師塾での実験、表現教育の活動体験、国際交流の3つのプログラムを順次回った。

国際交流のブースでは、留学生が30名参加し、ゲーム、ベトナム文化紹介、民族衣装着付け体験を行った。昼は学食で、一緒にランチを食べた。

(4) 外国人のための日本語スピーチコンテスト招待

小学生をゲストとしてスピーチコンテストに招待し、プレゼンテーションをしてもらった。これは、校長の高津先生からの「子どもたちに発表の場を与えた

い」という要望に応えたものだ。

当日は、スピーカーや会場にいた外国人留学生が、小学生のプレゼンを聞いた。

2) 被災地支援ボランティア

国際交流活動で、「被災地支援」に貢献できたことはよかった。国際交流活動が、国際理解、異文化理解の他にも、貢献できることがあることが分かった。



図10 民族衣装着付け体験

4. 3. 他の教育機関との連携

IPUは小学校から大学まで、様々な教育機関と連携を取っている。

1) IPU主催「外国人による日本語スピーチコンテスト」

本学の留学生の日本語能力の向上、岡山県の国際理解・異文化理解教育への寄与を目的とし、本学主催、第3回外国人を対象とした日本語スピーチコンテストを開催した。

岡山県ではこのような教育機関、所属機関を超えて、外国人を対象とした日本語スピーチコンテストは他に行われていない。このスピーチコンテストは、岡山県内の留学生が在籍する教育機関、岡山県内の外国人をつなぐネットワークを作るという大きな目標も掲げている。

①スケジュール・内容等

- ・会場：岡山市民会館 大ホール（2階席は使用せず）
- ・開催日時：1月11日（土）13：00～16：00
- 9：00 教職員、担当学生集合
- 10：00～ リハーサル
- 12：30～ 受付開始
- 13：00～15：00 スピーチ
- 休憩 2回

15:20~15:50 蘭小学校プレゼンテーション
審査
16:00~表彰式
終了後片付け

②参加者

・出場者：19名 9か国

中国, 韓国, ベトナム, インドネシア,
アメリカ, スリランカ, ロシア, ポー
ランド, カンボジア

・審査員：5名

審査委員長：

学校法人アジアの風 岡山外語学院

理事長 片山 浩子様

審査員：

一般財団法人岡山県国際交流協会

業務執行理事兼事務局長 肥塚 秀文様

山陽新聞社 編集局総務 中田 秀哉様

岡山県労働局 ポルトガル語通訳員

中島あゆみ様

環太平洋大学 副学長

村上 尚徳

・ゲスト

蘭小学校の生徒5名 (プレゼンテーション)

・聴衆：250名程度

③表彰

最優秀賞 パル・ヨアンラーさん

(岡山外語学院, カンボジア出身) 『陰に入る』

優秀賞 ゴー・バオ・ロンさん

(環太平洋大学, ベトナム出身) 『信じる力』

付文婷さん

(岡山大学, 中国出身) 『私のヒーロー』

審査員特別賞 林占偉さん

(岡山科学技術専門学校, 中国出身)

『勇気・自身・感謝』



図11 スピーカーと審査員

④課題

このコンテストでは、担当者の方針で、応募したス

ピーカーには全員出場してもらっている。今年度は、参加者が19人と多く、いつも途中で審査員の皆さんにコメントをいただいているのだが、時間がなくてできなかった。また、19名のスピーチを聞くのは聴衆側の負担も大きかったようだ。次回からは、人数をある程度絞りたい。

また、例年のことであるが、オーディエンスがなかなか集まらない。今後、開催方法も含めより多くの方に聞いていただけるような、方式を考えたい。

今年度、学生ボランティアの参加が例年になく少なかった。ボランティア集めも課題である。

2) 大学コンソーシアム岡山主催「エコナイト」

岡山の大学からエコを広げようという活動で、省エネ等の推進のため、毎年県内の大学などで開催している「エコイベント」である。現在、23の大学、短期大学、専門学校が参加している。節電、ライトダウン、通勤時のマイカー自粛、浴衣で授業を受ける、グリーンカーテンを育てる、廃油を使ったキャンドル点火等の活動が行われる他、奉還町商店街でイベントが行われる。

イベントは、毎年7月初旬に行われ、本学では、2015年から参加している。今年度は7月20日に行われ、瀬戸カーニバルと日程が重なってしまったため、留学生も教員も二手に分かれざるを得なかった。

①スケジュール。内容等

・会場：岡山市奉還町商店街

・実施日：7月20日(土) 17:00~20:00

スケジュール：

13:00 集合 準備開始

15:00~ リハーサル

16:45 開会式準備

17:00 開会式・パフォーマンス開始

20:00 終了

今年度は、ブースを出さなかったため、参加はパフォーマンスのみであった。

3) その他の教育機関との交流

(1) 瀬戸南高等学校との交流

瀬戸南高等学校では、パクチーを使った商品開発を行っており、その関係で、ベトナムの学生と料理交流をしていた。その際、留学生との交流が楽しかったと言ってくださり、今年度は、農業体験に招待された。

①田植え体験

・実施日：6月21日 10:30~12:00

- ・内 容：田植えをしながら高校生と交流
お土産に玉ねぎなどいただいた。

②稲刈り体験

- ・実施日：10月16日 10：30～12：00
- ・内 容：稲刈りをしながら高校生と交流する。
この時も、お米など農作物をいただいた。

(2) 小学校との交流会

昨年まで、グローバルセンターの教員が福武教育文化振興財団の助成金を得て、小学校で留学生参加の交流会を行っていたが、今年度は、国際センターの予算で、3校6回の交流会を行った。行った学校は以下の通り。

- ・岡山市立幡多小学校
- ・赤磐市立山陽北小学校
- ・赤磐市立山陽小学校

また、グローバル・スタディセンターの担当教員が、外国人の子どものための学習支援ボランティアの窓口となり、学生を派遣している。

4.4. 学内の国際化

今年度は、春に新入生歓迎会を兼ねた「国際交流会」を国際交流推進室主催で行い、秋は学友会主催、国際交流推進室共催で行った。春の国際交流会には中国からの修学旅行生も参加し、非常に盛り上がった。

また、数年来行われている「旧正月パーティー」を実施した。

1) 国際交流会

- 実施日：7月17日（火）16：30～18：00
- 会 場：ハーモニー2階
- 参加者：留学生，日本人学生合計100名ほど
- 内 容：音楽サークルの歌
ゲーム
ゼミで参加した日本人学生が，留学生や中国の修学旅行生と話し，盛り上げていた。

2) 旧正月パーティー

- 実施日：2月5日（火）16：30～18：00
- 会 場：ハーモニー2F
- 参加者：100名程度

4.5. その他活動

今年度は、恒例の「着物で初詣」の他、地域のボランティア団体主催のお茶会への協力を行ったり、岡山

市内の小学校との交流も行った。

1) 着物で初詣

- ・場所：岡山神社参拝と後楽園散策
- ・日時：1月19日（土）11：30～14：30
- ・スケジュール：

8：30 フィロソフィア集合
着付け

11：00 フィロソフィア出発

11：30 岡山神社到着 参拝
後楽園へ移動 散策

14：30 後楽園出発

15：00 フィロソフィア着

毎年、多くの学生が参加している。男性の着物も年々増え、着物を着て参加する男子学生も増えている。



図12 着付けの先生と一緒に記念撮影

2) ケア・フレンズ岡山のお茶会参加

今年度も「ケア・フレンズ岡山」のチャリティー活動の一環として行われたお茶会に参加し、お茶席を訪れる方々やお茶席のスタッフと交流を行った。

実施日：11月6日 9：00～16：00

会 場：岡山ガーデン

参加者：2名（茶道部留学生）

3) 岡山中央ロータリークラブお茶会参加

「青少年&国際法氏事業プロジェクト」の一環で、本学の留学生がお茶会に招待された。

実施日：11月10日 11：00～16：00

会 場：茶室「慈光庵」

参加者：6名（定員は日本人10名，留学生10名）

5. まとめ

本年度の国際センター国際交流推進室で行った活動を資料1にまとめた。今年度は、「お話し会」に福武教育文化振興財団の助成を受けることができた。外部資金を得られたことは、本学の国際交流活動が少しずつ、理解されていることを示すものではないかと考える。

今後も、より質を高め、活動を継続していくことにより、地域との連携をより深め、他の教育機関とのネットワークを強固にし、学内の国際化の推進にも努めていきたい。

参考

大学コンソーシアム岡山>イベント報告

<http://www.consortium-okayama.jp/event/>

(2020年8月30日)

早島町>早島の教育

http://www.town.hayashima.lg.jp/kosodatekyoiku/hayashima_kyouiku/index.html

(2020年8月30日)

ケア・フレンズ岡山

<https://care-okayama.jimdo.com>

(2020年8月30日)

倉敷市>倉敷国際ふれあい広場

<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/fureaihiroba/>

(2020年8月30日)

資料1		2019年度 国際交流センター 行事				
月	日	場所	タイトル・内容等	区分	参加者	備考
5	18 土	早島町	ロゲイニング (1) 英会話塾	外部との交流	留学生15名 教職員2名参加予定	
6	8 土	早島町	ロゲイニング (2) 英会話塾	外部との交流	留学生15名 教職員2名参加予定	
	21 金	岡山市	瀬戸南高校 田植え体験	外部との交流	留学生19名 教員1名参加予定	
	2 火	IPU	園小学校 未学 (プレゼンコンテスト見学)	外部との交流		被災地支援
	7 日		日本語能力試験			
	9 火	倉敷市立園小学校	国際交流会	外部との交流	留学生19名 教員2名参加予定	被災地支援
	14 日	奉還町商店街	エコナイト	外部との交流	留学生30名参加 教員3名参加予定	
	17 木	IPU	国際交流会	学内の国際化	100名参加 (国際交流サークル・田村ゼミ)	
	20 土	瀬戸町	瀬戸カーニバル	外部との交流	留学生 音楽サークルなど	社会福祉法人天撰会
		朝日町	朝日町夏祭り	外部との交流	留学生15名程度	朝日町町内会主催
	7 水	IPU	早島小学校 こども大学	外部との交流	留学生19人 日本人学生5名	早島町教育委員会
	8 木	早島町図書館	「アジアの国のお話会」1	外部との交流	留学生 8名	早島町教育委員会
	20 火	IPU	園小学校 未学 国際交流等	外部との交流	留学生 14名	被災地支援
	22 木	早島町図書館	「アジアの国のお話会」2	外部との交流	留学生 11名	早島町教育委員会
	28 木	早島町図書館	「アジアの国のお話会」3	外部との交流	留学生 8名	早島町教育委員会
	3 火	赤磐市	ブドウ狩り体験	外部との交流	留学生14名参加	赤磐市主催
	7 土	早島町	早島中学校 English day	外部との交流	留学生 10名	早島町教育委員会
	6 日	赤磐市 是里村	運動会	外部との交流	留学生24名程度	赤磐市主催
	19 土	倉敷市	倉敷国際ふれあい広場	外部との交流	前日準備 留学生15名 日本人学生3名	倉敷国際交流協会主催
	20 日			外部との交流	当日留学生60名 ブースによる文化紹介・パフォーマンス等	
	16	岡山市	瀬戸南高校 稲刈り体験	外部との交流	留学生学生 22名 教員1名	
	31 木		体育祭			
	2・3		学園祭			
	7 木	岡山ガーデン	ケアフレンズ お茶会	外部との交流	留学生2名程度	ケア・フレンズ
	9 土	早島町	ロゲイニング (3) 英会話塾	外部との交流	留学生15名程度	早島町教育委員会
	10 日	岡山市	「青少年 & 国際法氏事業プロジェクト」にほんのおもてなし文化の原点「茶事」を体験学習してみよう」	外部との交流	留学生6名	岡山中央ロータリークラブ
	17 日	矢掛町	ベトナム・フェスティバル	外部との交流	留学生 60人程度	矢掛町
	23 土	早島町	「IGUSAラケット卓球・世界大会 (仮)」	外部との交流	留学生 35名	早島町教育委員会
	1 日		日本語能力試験			
	3 火	IPU	新入生歓迎会	学内の国際化	100名ほど参加 国際センターは学友会の補助	IPU学友会
	7 土	早島町	ロゲイニング (3) 英会話塾	外部との交流	留学生8名	早島町教育委員会
	26 木	早島町	まなびの舎+国際塾 (料理交流)	外部との交流	留学生12名	早島町教育委員会
	11 土	岡山市民会館	外国人による日本語スピーチコンテスト	外部との交流・学内の国際化	スタッフ 留学生 60名程度 日本人学生 10名 参加者 日本人+外国人 300名程度	国際センター
	18 土	岡山神社・後楽園	着物を着て初詣	学内の国際化	留学生 33名程度	国際センター
	2 5 火	IPU	旧正月パーティー	学内の国際化	留学生 100名ほど 日本人学生10名程度	国際センター